

「向上心」や「粘り強さ」を学習の場で発揮させよう

1学期期末テストが終わりました。日頃の学びの定着を図るために中間テストや期末テストがあるのは分かっていると思います。さて、今回の期末テストを振り返ってみましょう。日頃の授業で学んだこと、学習の定着を図るために取り組んだワークやプリント、毎週水曜日のタブドリ学習。朝の基本タイムの取組。これらすべてにおいて、自分事として、力を付けるために取り組みましたか。学んだことを確かなものにするために、テスト休み前から計画を立てて頑張ることができましたか。しっかりと振り返りをし、弱点の洗い出し、弱みを強みに変える取組を一人一人が考え実行していきましょう。チャンスは今です。「向上心」をもって7月の授業に臨み、定着を図りましょう。そして、夏休みを有効に活用し、「粘り強く」課題解決に取り組みましょう。夏休みの課題をこなすだけではもったいないです。皆に与えられた1日24時間は同じなのですから、誘惑に負けることなく、勉強、部活動(地域クラブ活動)、リフレッシュ、睡眠などバランスよく行いましょう。

先日、3年生の学年懇談会がありました。その時には伝えられませんでしたでしたが、私の長い教員生活の中で耳にしてきた言葉です。【〇〇さんは勉強していないと言っているから私もまだ大丈夫】そう思っていますか?そう言っている友達こそ、本当は勉強していますよ。ただ勉強している姿を見せないだけです。改めて伝えます。高校入試(国公立、私立問わず)は中学校1年生に入学した時点から始まっています。公立入試(学力検査)には3年生までに習った範囲が出題されるわけです。つまり、簡単に言えば、1年生の範囲が3割程度、2年生の範囲も3割程度出題されるわけです。3年生になってから勉強を頑張っても、3年生の範囲も3割程度しか出題されないのです。3年生の時点で、いかに計画を立てて1・2年生の復習をし、定着を図るかにかかっているのです。3年生の学びと同時に並行で学習を進めなければ、焦りばかりが募ります。こうなっては遅いし、苦しいだけです。そうならないように、1年生も2年生も「今」を大事にして学習の定着に力を入れてほしいのです。

7月の授業と45日間の夏休みを合わせると2か月あります。自分を高め、学びを定着させる2か月にしてください。後悔しないためにも、分からないをそのままにせず、この2か月を有効に活用し、解消しましょう。いつでも質問に来てください。羽咋中の先生方は解決のために熱心に応えます。

わく・ワーク体験学習に向けて

2年生は7月22日(水)～24日(金)に行われる「わく・ワーク体験学習」に向けて、準備を進めています。協力いただく事業所は全部で28事業所となります。

第1弾として、自衛隊出前授業を行いました。生徒は興味をもって自衛隊の仕事について学ぶことができました。一部の生徒は、わく・ワーク体験学習でも本格的な体験を行うことになります。

第2弾として、「ジョブカフェ出前講座」では、「働くとは何か?」について講義を受けた後、仕事に対する基本的な所作(あいさつや言葉遣いなど)を学ぶことができました。

この後は、事業所ごとに生徒がアポイントを取り、打合せを行い、当日を迎えることとなります。働くことをとおして、自分のキャリアプランにつなげられるといいですね。



「自衛隊出前授業」と
「ジョブカフェ出前講座」
の様子です

栄光の記録～全能登大会を終えて～

全能登大会が終わりました。4日間で開催され、それぞれがベストを尽くし、ベストを超える戦いを見せてくれたと思います。

日頃のトレーニングの成果が結果に表れたとしたら、それは今までの部活動に取り組む姿勢がよかったからだと思います。一方で、もっとやれたのではないかという感情が生まれた人もいます。達成感をもった人も、悔しい気持ちをもった人もいます。それでも、今まで頑張ってきたことは間違っていない。次のステージ（県体）がある人は、もう一度原点に立ち返り、頑張ってください。

3年生にとって、ここから気持ちを切り替えなければならない人もいます。部活動で頑張ってきた自分を褒め、今度は高校入試という大きな壁に向かって「一点突破」できるよう、新たな目標に向けて頑張ってください。

6月13日～21日	【全能登大会】
卓球部 	<男子> 団体3位 荒木春貴 竹川政宗 大森崇史 枡谷 龍 寺 優輔 松永朱生 <女子> 団体3位 高田未来 藤森夏芽 山沢那奈 松永純怜 岡崎珠花 友兼茉紘 橋場晴来 前田睦姫 個人1位 藤森夏芽
弓道部 	<男子> 団体2位 川淵大嗣 川淵大翔 北出岳朋 個人2位 川淵大嗣 <女子> 団体2位 岡山梨咲 坂井美果 二谷茉白 個人3位 二谷茉白
剣道部 	<男子> 団体2位 本吉秀士郎 高島悠輔 古迫世名 桂 拓斗 針原悠輔 藤田敦成 森田樹生 <女子> 団体1位 松田奈子 松田麗月 山口紗波 越智愛心 本吉智子 日下 愛 塩木結愛 個人1位 日下 愛 個人2位 松田奈子 個人3位 越智愛心 個人3位 塩木結愛
ソフトテニス部 	<女子> 団体3位 宮本桜空 檜垣唯花 道井さとか 岡田彩希 松本菜芭 立中暖乃 高野 凜 松永 直
バレーボール部 	<男子> 2位 新田和之進 岡田凌和 新屋仁都 中多悠真 本吉慎之介 貞金凧都 野口雄心 干場爽也 室井隆希 中川瑛斗 中山公耀 岩谷亮良 田夢海琳 <女子> 3位 石崎乃愛 梅田恵唯 大塚麻矢 忠貞心夏 南 伶依 河崎永愛 橋本咲希 渡辺柑凧 石野緒実 松田結衣 脇本風香 谷口芽生 本吉 雅 礪見花奈 三原仁菜

編集後記

FIFA ワールドカップ 2026 が始まり、日本代表「サムライブルー」が快進撃を見せてくれました。オランダ戦ではタフな闘いにより2度追い付いてドロー。チュニジア戦でも快勝。予選を2位で通過し、強豪ブラジル相手に1-2と惜敗。ワールドカップ優勝を目標に掲げたその背景には、チームの約束事を大事にし、組織としてやるべきことを徹底したと。堂安律選手は「個人のワガママではなく、優先すべきことを徹底するんだ」と語っていました。▼自分さえよければ何をしてもよいのではなく、仲間のことを考え、優先して何をすべきかを考える。サッカー日本代表選手の姿から学ぶべき点が多くあります。今の自分を客観視し、一回りも二回りも成長したいですね。▼ブラジル戦に敗退し、最後の森保監督の姿から、本校の校歌にもある「礼節」を重んじる大切さも学びました。(杉谷)